

令和2年度
まちづくり活動
アシスト事業報告「ながはまKururKurumalシェ」で地域貢献
〜未来に向けてより良い地域をつくっていくために〜NPO法人
ブルーキャットながはま
代表 宮本 浩子

はじめに(団体の紹介)：『女性目線の『おもてなし』を』

「NPO法人ブルーキャットながはま」は大洲市長浜の地に平成31年3月に女性だけで設立いたしました。

大洲市長浜地域は、地域産業の低迷、また、少子高齢化により地域人口は減少の一途をたどっており、町に活気がなくなっております。

素晴らしい自然いっぱいながはまにある地域資源を生かしつつ「観光」を作り出し、観光客を呼び込み地域活性化を図りたい。女性達の目線で長浜を訪れる皆様の「おもてなし」を考え、安心して多くの観光客が訪れることができるような環境づくりを行っていく、地域活性化に貢献できたらと考えています。

主論(取組内容)：『ダイスキな長浜をもっと盛り上げたい!』

平成31年3月にNPO法人設立から1年後の令和2年2月に『大好きな長浜をもっと盛り上げた!』そんな想いか



2月 マルシェ

ら、第1回の「ながはまKururKurumalシェ」を開催しました。

当初は、長浜高校水族館の一般公開日に合わせて、毎月(8、12月1月はお休み)第3土曜日に開催予定としていました。

第1回の2月は、開催場所がJR伊予長浜駅の横の観光案内所ということもあり、約200名の来場者があり、大盛況でした。

しかしながら、3月以降新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない状況に…。

せっかく初めた新しい取組みなので、様子を見ながら再開を目指して、10月、11月になんとか開催することができました。

ただ、2月に開催した場所は狭く、三密の恐れがあるため、会場を変更し、感



11月 マルシェ



10月 マルシェ



染防止対策を行つての開催となりました。

ほとんどの

地域イベントが中止になっている中、小規模ながら再開できたことは、地域住民はもちろん、出店者にも大変喜んでいただき、自粛生活のなか、楽しいひと時を過ごしていただいたのではないかと思います。

今後もより多くの方が楽しんでいただける、リピートしていただけるものにバージョンアップしながら実施していきます。

まとめ：『長浜の魅力を発信していく』

長浜には国の重要文化財である長浜大橋(赤橋)や世界的にめずらしい気象現象である「肱川あらし」、また長浜高校にある日本で唯一の水族館部などがありますが、町外から訪れる観光客への受け皿や情報発信力が乏しく、観光資源を有効に活用できていないのが現状です。

今後は長浜ブランドを立ち上げ、「ながはま」の魅力を発信していく、地域活性化につなげていける活動をしていきたいと思っています。



11.21 チラシ